平成16年度 京都大学大学院理学研究科(数学・数理解析専攻)

数学系 入学試験問題 数学 I

- ⊗ 1 から 7 までの全問を解答せよ.
- ⊗ 解答時間は 4時間 である.
- ⊗ 参考書・ノート類の持ち込みは 禁止 する.

[注意]

- 1. 指示のあるまで開かぬこと.
- 2. 解答用紙・計算用紙のすべてに、受験番号・氏名を記入せよ、
- 3. 解答は各間ごとに別の解答用紙を用い, 問題番号を各解答用紙の枠内に記入せよ.
- 4. 1 間を 2 枚以上にわたって解答するときは、つづきのあることを用紙下端に明示して次の用紙に移ること。
- 5. 提出の際は、解答用紙を問題番号順に重ね、計算用紙をその下に揃え、記入した面を外にして一括して二つ折にして提出すること.
- 6. この問題用紙は持ち帰ってよい.

[記号]

以下の問題で \mathbb{Z} , \mathbb{Q} , \mathbb{R} , \mathbb{C} はそれぞれ整数の全体, 有理数の全体, 実数の全体, 複素数の全体を表す.

- | **1** | 実数を係数とする高々 n 次の一変数多項式全体のなすベクトル空間を V_n で表す.一次変換 $\phi: V_n \to V_n$ を $\phi(f) = f'(f')$ は f の導函数) で定めるとき, ϕ の階数を求めよ.
- | **2** 実数列 $\{a_n\}_{n=1}^{\infty}$ が

$$\lim_{n \to \infty} (a_{n+1} - a_n) = 0$$

を満たすとする。このとき、

$$\lim_{n \to \infty} \frac{a_n}{n} = 0$$

を示せ.

 $\bf 3$ 正定値実 n 次対称行列 A と正の実数 λ について,

$$\{x \in \mathbb{R}^n \mid Ax = \lambda x\} = \{x \in \mathbb{R}^n \mid A^2 x = \lambda^2 x\}$$

を示せ.

4 なを変数とする函数項級数

$$\sum_{n=1}^{\infty} (-1)^{n+1} \frac{1}{n+x^2}$$

は ℝ で一様収束することを示せ.

- $oxedsymbol{5}$ $oxedsymbol{\mathbb{Z}}$ 上の n 変数多項式環から $oxedsymbol{\mathbb{Q}}$ への環準同型写像は、全射でないことを示せ、
- **6** \mathbb{R}^n 上定義された実数値 C^∞ 級函数 f(x) が、すべての $k \in \mathbb{Z}^n$ について f(x+k)=f(x) を満たすとする.このとき、

$$\frac{\partial f}{\partial x_1}(a) = \dots = \frac{\partial f}{\partial x_n}(a) = 0$$

となるような点 $a \in \mathbb{R}^n$ が存在することを示せ.

7 次の複素線積分の値を求めよ.

$$\int_C \frac{dz}{\sin(z^2)}$$

ここで C は円周 $|z-i|=\frac{3}{2}$ を正の向きに一周する積分路とする.